

Oxford Reading Tree

# Read at Home

ハンドブック



# Read at Home ハンドブック

## もくじ

序章 子どもに本の楽しさを伝えるために P1

第一章 読書を始める準備をしましょう P2

第二章 自分の力で読書を始めてみましょう P4

第三章 よい「読み手」になるために P6

第四章 読書に対する自信を育み、自信を持って読書をしましょう P7

読書にまつわる Q&A P8

Read at Home: First Skills / First Experiences タイトル一覧 P11

## 子どもに本の楽しさを伝えるために

子どもに読書の楽しさを伝えるには、どうすれば良いでしょうか。読書が子どもとお母さんにとって、わくわくするような楽しい時間になれば素敵ですね。親と一緒に家庭学習を行う子どもは、学校でも非常に良い成績を収める傾向があります。特に国語や英語など、読む力が必要とされる科目においてその効果は絶大です。お母さんやお父さんと一緒に読書をする時間が増えれば増えるほど、子どもは読書により強い関心を持つようになり、読書に対する自信にもつながります。

読書の練習は、赤ちゃんの頃から始めることができます。読み聞かせに、ゲームやアクティビティなど少し変わったアイデアを取り入れてみると、ひとつの本がびっくりするほどたくさんの世界を持つ事に驚かされることでしょう。このハンドブックでは、子どもの成長ステージに合わせて取り組めるいくつかの読み聞かせアイデアをご紹介します。

読書を行う上で、学力レベルに合った読書のスキルを身につけることはとても重要なことです。読書の方法は、大まかに二通りに分けることが出来ます。一つは、お話を大きなまとまりで捉える方法です。文章や章全体など、大きな単位でお話の意味を把握しながら読み進めていきます。もう一つは、「精読」とも言われますが、単語ごとに細かく意味を把握しながら読み進めていく方法です。

幼い時期には、しばしばどちらか一方の方法に偏りがちですが、早い時期からバランスのとれた読書力を鍛えることはとても大切なことです。バランスのとれた読書力を鍛えるためには、次のような方法があります。

- ・ お話に出てきた表現を使って、内容について子どもに直接語りかける
- ・ 文章だけでなく絵にも注目する
- ・ コンテキスト（前後関係）を意識しながら読み聞かせる
- ・ フォニックス（発音練習のひとつ）を取り入れる
- ・ 一般的な語彙を優先的に覚える



学校によっては、一部の学習方法に的を絞って行う場合もあります（例えば、フォニックスとボキャブラリーの組み合わせといった具合に）。しかし、よい読者になるためには、これら全ての方法をバランスよく使いこなせるようになる必要があります。

## Read at Home とは

Read at Home は、イギリス国内の 80%以上もの小学校で使用されている最も有名なイギリスの教科書「Oxford Reading Tree」シリーズから生まれた自宅学習用のリーダーです。

## 第一章 読書を始める準備をしましょう

### まずはお話を「聞く」ところから

赤ちゃんの頃は、まず本に慣れる事から始めます。次のような方法を試してみましょう。

- ・ 読み手が感じたお話の面白さを子どもに語りかける
- ・ 絵について子どもに語りかける
- ・ お話の世界の出来事を、子どもの日常生活で起こる出来事と関連付けてあげる
- ・ 街中の看板や標識など、子どもと一緒に言葉探しをして声に出してみる
- ・ お話に関連した歌を子どもと一緒に歌ってみる

このようなシンプルなアクティビティで、読書を行う前の準備を行いましょう。

### 実際に読んでみましょう

読み聞かせを行ううちに、子どもが文字に興味を示し始めたら、それは読書を始める準備が出来てきたというサインです。以下のことに注意しながら、読書に少しずつトライしていきましょう。

- ・ 1日1回読み聞かせの時間を作る
- ・ 好きなお話が出来たら、繰り返し読み聞かせる
- ・ 同じレベルでたくさんのお話を読む  
お話への理解力を高めて子どもの自信を育むため、時々少し下のレベルのお話もおさらいしてみましょう。突然難しいお話に挑戦しようとする、子どもはお話に対する興味を失うことがあります。

大切なことは、読み手自身がリラックスをし、お話を楽しむということです。読み手自身が楽しみながら読み聞かせを行えば、その気持ちは子どもにも伝わります。また、お話に関連した歌があれば、歌って聞かせてみましょう。子どもが保育園や幼稚園、テレビなどで学んで既に知っているお話があれば、お家でも読み聞かせてあげてください。また、子どもに本に触れさせてみるなど、本に対する興味を起こさせるような工夫をしてみましょう。

### 読書に必要なスキル

まずは、次のような基礎的なスキルを身につけることを目標にしてみましょう。

- ・ お話に対する簡単な感想を表現する
- ・ 自分の名前を認識する



- ・ 本の中で見つけた単語を、フラッシュカードの中から探し出すことができる
- ・ 自分の名前に含まれているアルファベットの発音を認識する

この時期の子どもたちの読書に対する意欲は、次の 4 つの要素によって大きく左右されます。

- ・ モチベーション  
お話を理解しようという気持ちが、読書をより楽しくします。
- ・ 記憶力  
文字を追ってお話を読むことより、お話を記憶することばかりに集中しているように見えても、大丈夫です。記憶は、お話を理解する上で重要な鍵になりますので、そのまま読み聞かせを続けてあげてください。文字を読ませたいがために、絵を隠したりといったことはしないようにしてください。
- ・ 集中力  
お話に対して 5 分から 10 分程度の集中力を維持できるようになったら、読書を始める準備が出来てきたサインです。
- ・ 情報の識別能力  
同じ物事を認識したり、異なった物事を区別したりする能力は、お話を読み解く上で必要不可欠です。

### よりよい読書を実践するためのヒント

日々の生活の中で、出来るだけ多く読書の時間を設けるようにしましょう。お買い物のバスの中やお風呂の中、そしておやすみ前のベッドでも本を読む習慣をつけましょう。ただ、このとき一点注意してほしいことがあります。お休み前の子どもは、読み手と「一緒に」読書をするには少し疲れています。ですから、子どもの「ために」読み聞かせをしてあげるということを心がけてあげてください。

### お話をよりよく理解するために

毎日の読書を行う前に、次のことに挑戦してみてください。

- ・ 表紙の絵やタイトルについて、子どもに話しかけてみる
- ・ 子どもと一緒に絵を一通り眺めてみる
- ・ お話の内容について想像し、子どもと一緒に話し合ってみる

次に、実際に読書を行ってみましょう。

- ・ まずは、会話を挟むことなく最後まで読み通してみよう
- ・ 文章を指で追いながら、声に出して読み進めてあげよう

今度は、子どもと一緒にお話を読んでみましょう。フレーズを一緒に繰り返しながら、子どもの読書への参加を促してあげてください。絵を見ながら、次に一体何が起こるのか、一緒に想像してみましょう。

お話が終わったら、子どもに次のような質問をしてみましょう。

- ・ 一番好きな箇所はどこだった？
- ・ どうして Floppy は水の中に落ちちゃったのかな？
- ・ ちゃんは、こんな経験したことある？

Read at Home シリーズには、全てのお話の巻末に理解度を確認するためのコーナーがあります。是非子どもと一緒にトライしてみてください。

### 文字と単語の学習ヒント

一度読み終わったら、次は単語や文字など、より小さなまとまりでお話を読み解いていきましょう。

- ・ お話を読み進めていく順番を確認する
- ・ 単語の最初のアルファベットに子どもの注意を促し、同じ発音で始まる語を探す
- ・ 全く同じ単語を2つ探す

## 第二章 自分の力で読書を始めてみましょう

声に出して読み聞かせを行うとき、現在の子どものレベルより少し高めのお話も取り入れてみましょう。少し難しいお話でも、まずは読み聞かせを聞くことにより、少し楽にスタートできるはずです。

子どもが既に知っているおなじみのお話があれば、是非一緒に声に出して読む練習をしてみましょう。声に出して読むことに対する自信が感じられるようになってきたら、読み手は少しずつ声を小さくしてみてください。

### 読書に必要なスキル

ここでは、第一章でお伝えしたスキルに磨きをかけていきます。同時に、次のようなスキルを身につけるための練習も始めてみましょう。

- ・ 頻出単語の意味を理解する
- ・ お話の簡単なあらすじを説明する

- ・ 絵を手がかりに、簡単なセンテンスを読む
- ・ 単語の最初のアルファベットを認識する（'dog'の'd'の発音など）

### よりよい読書を実践するためのヒント

子どもに読ませる前に、まずはお手本として読み聞かせをしてあげてください。それにより、子どもはお話全体の流れや、単語や文章のパターンを大まかに把握することが出来ます。

### お話をよりよく理解するために

- ・ タイトルや表紙の絵について会話をしながら、お話への想像を一緒に膨らませましょう
- ・ 読み手は単語を指で指し示しながら読み進めてあげましょう
- ・ お話の中で起こっている出来事や、その次に起こりそうな出来事について一緒に会話をしてみましょう

お話が終わったら、子どもに次のような質問をしてみましょう。

- ・ 一番好きな箇所はどこだった？
- ・ どうしてトラは Floppy を逃がしてあげたのかな？

お話を読み終わった後は、巻末の理解度確認コーナーに用意されているテーマに沿って、子どもと簡単なディスカッションをしてみてください。お話のさらなる理解に役立つはずです。

### 文字と単語の学習ヒント

次のような質問をしながら単語あてゲームに挑戦してみましょう。

- ・ このページの中に、Floppy の名前があるよ。どこに書いてあるかな？
- ・ このページの絵の中に、'B' の音ではじまる単語はあるかな？

### 読書をより面白くするために

本のレパートリーの中に、次のようなお話を取り入れてみましょう

- ・ おとぎ話や昔話のリライト版（簡単な言葉で書き直されたもの）
- ・ 有名な童謡、子ども向けの歌
- ・ エリック・カールの「はらぺこあおむし」など有名な絵本



### 第三章 よい「読み手」になるために

子どもに読み聞かせを行うとき、彼らの関心を文字や絵に促してみましよう。お話に関連したペアアクティビティなどに挑戦するときは、是非子どもにペースを任せてみてください。もし子どもが単語の発音に苦戦したら、ヒントとして最初の文字だけ発音してあげてください。

#### 読書に必要なスキル

聞き手から読み手へと成長していくこの段階では、読書に必要な初期スキルの全てをバランスよく訓練する必要があります。それに加えて、次のようなスキルを習得するため、練習を始めると更に効果的です。

- ・ 10語～20語くらいの基礎的な単語をひと目で認識する
- ・ 簡単なセンテンスを読む
- ・ 単語の最初の文字を全て正しく発音する
- ・ 表現力を駆使して読む



#### よりよい読書を実践するためのヒント

本を読み始める前に、まずは絵だけを見ながら内容について一緒にディスカッションしてみましよう。

- ・ 発音が難しい単語は、とにかく声に出してみましよう
- ・ 繰り返し出てくる表現を声に出してみましよう。次に子どもが自分でお話を読むとき、頻出表現を覚えていると便利です

#### お話をよりよく理解するために

これまでに紹介してきた様々な方法を継続しながら、次のことにも挑戦してみましよう。

- ・ お話の中に登場した出来事について、振り返ってみましよう  
(最初に何が起こったかな?そして、次は何が起こったかな?最後は、どんな風に終わったかな?)
- ・ お話の感想を子どもに聞いてみましよう。子どもがうまく感想を表現できない場合は、読み手が感想を引き出してあげられるよう、会話を導いてあげてください

子どもがお話の流れを見失ってしまったときは、一旦読書を中断し、読んでいる単語やセンテンスの意味について考えるようアドバイスしてあげましよう。

- ・ 難しい単語はやさしい別の単語に言い換える
- ・ センテンス単位で読み直す
- ・ 絵をヒントに意味を想像する
- ・ 単語の響きを使って意味を想像する



### 文字と単語の学習ヒント

- ・ 「th」や「sh」のように、2つのアルファベットを一つの発音で表す場合は、指し示して説明する
- ・ 会話文や擬音語、動作を表す語（例：bump、zoom等）に注意を促す

同じレベルで出来るだけ多くの本を読むよう心がけて下さい。



## 第4章 読書に対する自信を育み、自信を持って読書をしましょう

### 子どもの自信を育むために

子どもと読み手で読書を分担してみましょう。読み手が最初の1ページを読んだら、次の1ページを子どもに読ませてみましょう。そうすることにより、次のような効果が期待できます。

- ・ 子どもにスムーズな読み聞かせのお手本を示すことが出来る
- ・ 分担することによりお話が短く感じられるので、また読みたいという気持ちになりやすい
- ・ 子どもが自分のパートを読むことに精一杯になりお話の流れを見失っても、読み手のお話を聞いてまた思い出すことが出来る

### 読書に必要なスキル

さらに自信を高め、読書の力をより確かなものにするために、是非これまで学習してきた方法を実践し続けて下さい。一方で、次のようなスキルを習得するために練習を行うとさらに効果的です。

- ・ 30語～50語くらいの頻出単語をひと目で認識する
- ・ 出来るだけ読み手のサポートなしに、難しいセンテンスを解読できる
- ・ 綴りを見て正しく発音できる
- ・ 文中のより多くの単語を理解できる
- ・ 50語くらいの基礎的な単語の意味を理解し、知らない単語に出会った場合も、様々な方法を使って意味を推測する
- ・ 登場人物やお話の内容について自分なりの意見を述べる
- ・ 声を出さずに黙読し、常に先の単語を追いながら読む
- ・ 少し長めのお話に挑戦する
- ・ 文章の意味がわからないときは、もう一度読み直してみる

- ・ 難しい単語は、前後関係や絵、フォニックスを使って意味を推測する
- ・ 本の中の出来事と、自分自身の普段の生活で起こる出来事とを重ね合わせて考える  
(自分自身の過去の体験とストーリーを重ねてみる)
- ・ 表現力を駆使してお話を読み直す

### 文字と単語の学習ヒント

- ・ 一つひとつのアルファベットではなく、それらが構成する単語のかたまりを意識して読む  
(「barked」の場合、bark/ed で分けるのではなく、「barked」という過去形の単語として認識する)
- ・ 子どもがある単語で行き詰ってしまったときは、以下のことを試してみましょう
  - 単語のまとまりを発音する
  - その単語が含まれる文章を最後まで読み、前後関係から推測させる
  - 文章をゆっくりと最後まで声に出して読み上げる

この段階でも、出来るだけ多くの本を読むことを心がけましょう。



### 読書にまつわる Q&A

#### ・ 何歳頃から読書を始めれば良いのでしょうか？

読書を始める時期に、早すぎるということはありません。赤ちゃんやよちよち歩きの子どもでも、絵を眺めたり、絵本の読み聞かせを楽しんだりすることが出来ます。是非、赤ちゃんの時から童謡や歌を聞かせ、絵本と一緒に読んであげてください。

#### ・ アルファベットも教えた方が良いでしょうか？

是非教えてあげてください。歌やゲームを使ってアルファベットを教えてあげると効果的です。アルファベットの個々の名称に加えて、それらの発音も同時に教えるようにしましょう。

#### ・ 子どもが文字より絵に興味を示したら、どうすれば良いでしょうか？

幼い子どもにとって、絵は文字よりも興味深いものです。そのまま読み聞かせを続けてあげてください。絵は、お話の内容や意味を把握するために必要不可欠なものです。文字や単語を学習させたい場合は、通常の見聞に加え、フォニックスやお話に関連したアクティビティを取り入れてあげてください。

・ **子どもが同じ本ばかり読みたがる場合、どうすれば良いのでしょうか？**

是非、そのお話を読み続けてあげてください。好きなお話が出来るのは、素晴らしいことです。同じお話を繰り返して読むことにより、読書に対する自信をつけることも出来ます。

・ **いつから、どのようにすれば子どもと一緒に読書をする事が可能になるのでしょうか？**

このハンドブックの最初の部分でお伝えした方法を参考に、子どもの様子を見ながら少しずつ読書への参加を促してみてください。無理なスピードを強要せずに、子どものペースを尊重してあげましょう。子どもが本を読み進めることに慣れていないうちは、読み聞かせや、本に関連したゲームを楽しむことにより多くの時間を割くようにしてください。子どもが単語の意味や内容に関する質問をしてくるようになったら、それは彼ら自身でお話を読み進める準備が出来てきたという一つのサインです。まずは子どもたちにとっておなじみの有名なお話を選び、読み始めてみましょう。同じフレーズがたくさん登場するお話は、頻出単語や頻出表現を効果的に覚えることが出来るので理想的です。Read at Home シリーズには、同じフレーズが繰り返し登場するお話がたくさんありおすすめです。

・ **子どもが間違えたときは、どうすれば良いのでしょうか？**

子どもの読み聞かせがよほど意味を成さない場合を除いて、極力流れを止めないようにしてあげてください。初期の段階では、正確さよりもお話の意味をつかむということが重要です。正確さは、後から自然と付いてきます。

・ **子どもがある単語を発音できず、つまづいてしまった時はどうすれば良いのでしょうか？**

最初のうちは、小さな声で発音して助けてあげてください。それでもつまづくようであれば、次のようなことを試してみてください。

- 絵をヒントに考えるようアドバイスをしてあげる
- 最初のアルファベットを発音させてみる
- 単語を音節に分けて発音させてみる
- 文章全体を読ませ、文の意味から推測させる

・ **子どもの読書に成長が見られない場合、どうすれば良いのでしょうか？**

心配しないで下さい。子どもは常に異なったスピードで成長していくものです。また、次のステージへ進むためには、それまでに吸収した知識を固める必要があるのです。そんなときは、同じ本に何度も挑戦してみたり、同じレベルの別のお話に挑戦してみたり、お話に関連したゲームを楽しんでみてください。読み手は、常に傍で子どもを応援してあげま

しょう。子どもが再び自信を取り戻したら、成長も自然とついてくるようになるでしょう。

子どもにプレッシャーを与えることなく、一緒に読書を楽しんでくださいね！



## Read at Home: First Skills / First Experiences シリーズ タイトル一覧

ISBN (978019)	タイトル	内容
------------------	------	----

### First Experiences


8386407	 At School	キッパーのはじめての登校日！
8468943	 At the Dance Class	キッパーが友達とダンス教室へ
8386414	 At the Dentist	キッパーが初めての歯医者さんへ
8386636	 At the Doctor	具合が悪くなったキッパーがはじめて病院へ
8468912	 At the Farm	はじめて牧場に行ったキッパー、動物たちに餌やりをします
8386629	 At the Hairdresser	おばあちゃんに家族写真を送るため、キッパーははじめての美容室に
8387237	 At the Hospital	足に怪我をしてしまったチップ。はじめての病院へ
8387251	 At the Match	生まれてはじめてのサッカー観戦、キッパーは大興奮！
8387244	 At the Optician	キッパーがはじめての眼科へ
8386438	 At the Pool	キッパーがはじめての水泳教室へ
8386421	 At the Vet	フロッピーが怪我をして大変！キッパーはフロッピーを連れて動物病院へ
8387268	 Bottles, Cans, Plastic Bags	キッパーたちが、生まれてはじめてのリサイクル活動に挑戦！
8468929	 Kipper Gets Nits	キッパーのあたまに、Nits（しらみ）が！
8386605	 On a Plane	キッパーがはじめての飛行機の旅に
8468936	 On a Train	おばあちゃんに連れられて、キッパーははじめての電車の旅に
8386612	 Pet Rabbits	キッパーは友達の子猫のうさぎを預かることに

ISBN (978019)	タイトル	内容
------------------	------	----

### First Skills

8387442	 Biff's Opposites	ビフと一緒に反対語を勉強しましょう
8387428	 Floppy's Colours	キッパーたちと一緒に絵かきをしながら、たくさん色を覚えましょう
8387459	 Kipper's Weather Week	キッパーたちと一緒に遊びながら、楽しくお天気を学習しましょう
8387435	 Wilf's Shapes	ウィルフと一緒にいるな形を勉強しましょう
8387077	 Biff's Times Tables	ビフと一緒に九九を学習しましょう
8387107	 Chip's 1,2,3	キッパーたちと一緒に数を学びましょう
8387091	 Floppy's A B C	キッパーたちと一緒にABCを学びましょう
8387084	 Kipper Tells the Time	キッパーの一日を追いながら、時間表現を学習します

### Dictionary

9115549	 First Dictionary	キッパーたちがおくる、はじめての絵辞典
---------	---	---------------------

### 弊社教材のご購入について

お近くの取り扱い書店は下記のウェブサイトからご確認いただけます。

[www.oupjapan.co.jp/buy/index\\_jp.shtml](http://www.oupjapan.co.jp/buy/index_jp.shtml)

お近くの書店で在庫を置かれていない場合でも、ご注文・お取り寄せいただくことが出来ます。弊社は書店への卸売り販売を行う出版社のため、個人のお客様に向けた小売をいたしておりません。万一弊社出版物のご購入に関して不明な点がありました際には、お近くの書店様を紹介させていただきますので弊社までご連絡下さい。

1

Tel: 03-5444-5454 Email: [elt.japan@oup.com](mailto:elt.japan@oup.com)  
[www.oupjapan.co.jp](http://www.oupjapan.co.jp)